

## 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

### 1. 基本情報

#### (1)管理施設

施設名	七国山学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市山崎町1314-2(七国山小学校敷地内) 【開設年月】 2004年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積292.73㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 119名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

#### (2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

### 2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	通年	異世代交流や3R講座、移動防災教室など人との交流や、季節の工作を取り入れ行った。
職員の質の向上を図る	通年	常勤職員の研修参加回数が、平均均17回と目標10回を大きく上回り、質の向上につなげることができた。
満足度調査回収率75パーセントを目指す	通年	回収率81.37%達成、昨年より15.3ポイント増加した。

### 3. 昨年度の課題

内容	【利用者満足度調査回収率】 回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。
----	--

### 4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、昨年度から改善し、全体満足度では100%を達成するなど、質の高いサービスを提供していると判断できる。利用者アンケートで出た意見を反映し、運営を改善していたことが要因としてあげられる。昨年度の課題であった回収率については昨年度から約15ポイント改善し、利用者の意見聴取について一定以上行った判断できる。また、職員の人材育成や研修受講支援について、積極的に取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っていると判断し総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期保育の際には、ボランティアや地域との触れ合いの機会を持ち、週一回以上のイベントを設け、子どもたちが一日保育を楽しめるように工夫した。また、保護者からの希望をうけ、レトルトデーを設けた。弁当を作る負担が減ったと保護者から好評を得た。</li> <li>・小学校の校庭が広いので、おにごっこやサッカーなど身体をたくさん動かす遊びができた。</li> <li>・異年齢で遊べる機会を増やすため、全員でドッジボールや鬼ごっこをする機会を作った。集団遊びをきっかけに、友だちの輪が広がり、普段関わらない子同士が遊ぶ姿も見られた。</li> <li>・青少年健全育成委員会などに参加し、近隣の保育園、幼稚園と関係を密にし、情報交換を積極的に行った。</li> <li>・法人として、更なる安心・安全な保育を目指して、学童保育クラブ障がい児保育事故防止対策マニュアルを策定した。</li> <li>・3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どもたちへの手洗い、うがい、咳エチケット、マスクの着用等の指導や、室内の消毒、換気等の徹底を図り、法人内クラブで感染防止対策など情報共有を行いながら保育を行った。</li> </ul>	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2019年12月 【登録児童数】114名(調査月1日時点) 【配布枚数】102枚 【回答数】83枚 【回収率】81.37% 【調査方法】在籍児童の連絡帳等とおして配布、回収箱に投函・事務局へ郵送・連絡帳とおして提出
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	100.0%	A

指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	98.0	99.0	98.0	98.7	100.0

指標2	評価基準	目標	結果	評価
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	97.5%	A

指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	96.3	94.5	91.0	95.9	97.5

指標3	評価基準	目標	結果	評価
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	10回	17.0回	A

指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	2	2	10	10	10
実績値		8.3	10.0	11.2	17.0

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において100%を達成しており、非常に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	2015		2016		2017		2018		2019		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	37,977	40,832	39,734	38,246	35,897	35,172	40,447	39,226	36,957	35,740
	特別育成料	570	485	478	364	385	535	518	459	445	356
	雑収入	0	16	16	14	13	12	13	11	10	7
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38,546	41,333	40,228	38,624	36,295	35,719	40,978	39,696	37,412	36,103
支出	人件費	33,391	34,194	35,151	30,834	31,060	29,560	35,209	33,140	31,587	29,909
	管理費	721	594	688	429	706	407	706	463	652	477
	運営費	869	656	802	416	833	317	832	413	742	428
	精算する経費	1,500	1,511	1,500	1,355	1,500	1,381	1,500	1,425	1,700	1,303
	間接経費	2,065	2,045	2,087	1,853	2,196	2,052	2,731	2,329	2,731	2,731
	計	38,546	39,000	40,228	34,887	36,295	33,717	40,978	37,770	37,412	34,848
総計(収入-支出)	0	2,334	0	3,737	0	2,002	0	1,926	0	1,255	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	-7.6	2.2	4.6	4.7	3.0
負債比率	140.8	118.9	76.5	70.1	70.2

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。